

---

# ありふれたはなし

千顔

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありふれたはなし

### 【Nコード】

N0471J

### 【作者名】

千顔

### 【あらすじ】

イロイロあつて減りまくりの人類。新しいチカラは得たけれど。《人類の敵》も土からワラワラ現れて。近未来ファンタジー《ありふれたはなし》、始めました。注意。ヤバい遅筆です。よって、一話あたりの文字数が……。それでも読んでいただけたら嬉しいです。感想・評価もよかったですらお願いします。

さいしょのはなし

ピロリロリロリロ……

清潔感あふれる店内にチープな音が響く。私はこの音が嫌い。理由と呼べるほどの理由は、特にないけれど。ただ、なんかこう、気に入らないのだ。私個人の意見としては、一昔前のインディーズバンドをかけた。いや、それならそうすれば良いわけだけど……まあ、そうできない理由は置いておこう。かなりくだらない話だし、何より一ヶ月振りの客らしい。

店の壁を埋めつくす棚に陳列していた品物を元の箱に一旦戻し、接客しようとして私は硬直した。

「……ドッピーは何をやって」

ウウウウウウヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴヴ

『《ジャパン30》に《バグ》発生！ 《タイプ》の《レベル》！  
近くにいる《イクスターミネーター》は急いでくれ！ 繰り返す  
！ ジャパン30に……』  
「……遅ッ！」

鳴り続けていたピロリロをかき消して轟くサイレンと男性の声。  
……このやろっドッピー。

「……まア、仕方ないか。それよりもまずは……」

レジの前でバケツに納まっていた棒つき雑巾を、景気づけに勢いよく引き抜く。水が今しがた拭き終えたばかりの床にびちゃびちゃ

つと飛び散った。また掃除のやり直しらしい。

「暇だからいいんですけどねー……」

自分で言ってテンション急降下。泣きそうデス。

「……あー、もう、取り敢えずお客さま」

切り替え切り替え、顔振る振る。そして水が滴る雑巾を店の入り口 開いた自動ドアの外に向け。そこにいらっしやるのは《人類の敵》らしい。

「 Fuck you! 」

ワタシハ《もっぶ》《ユニギットトビマシタ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0471j/>

---

ありふれたはなし

2010年10月28日04時40分発行